

厚生労働省が公開する「地域包括ケア『見える化』システム」に掲載されている数値を用いて、本市の介護保険事業について特徴を抜粋しました。

1 本市の高齢者に関する基本情報について

本市の高齢者人口、要支援・要介護認定者数等は、表1及び表2のとおりです。

表1 地域包括ケア「見える化」システムによる高齢者人口等の推移（各年度3月時点）

	指標 ID		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			人口	割合	人口	割合	人口	割合
総人口	A1		171,903 人	—	171,499 人	—	171,095 人	—
65 歳以上人口	B1	—	53,523 人	31.1%	53,406 人	31.1%	53,316 人	31.2%
65 歳～74 歳	B2	B2-a	20,770 人	38.8%	19,865 人	37.2%	19,254 人	36.1%
75 歳～	B2	B2-a	32,753 人	61.2%	33,541 人	62.8%	34,062 人	63.9%
認定者数(1号のみ)	B3-a	B4-a	11,310 人	21.1%	11,680 人	21.9%	12,113 人	22.7%
65 歳～74 歳	—	—	777 人	6.9%	756 人	6.5%	738 人	6.1%
75 歳～84 歳	B3-d	—	3,543 人	31.3%	3,693 人	31.6%	3,911 人	32.3%
85 歳～	B3-e	—	6,990 人	61.8%	7,231 人	61.9%	7,464 人	61.6%

※ 65 歳以上人口における割合は総人口に対するもの（高齢化率）

※ 認定者数における割合は 65 歳以上人口に対するもの（認定率）

※ 各年齢帯における割合は合計に対するもの

※ 指標 ID の「—」は表内の数値を元に算出したもの

表2 地域包括ケア「見える化」システムによる要支援・要介護認定者数等の詳細（令和6年度末時点）

	指標 ID	合計人数		支援 1		支援 2		介護 1		介護 2		介護 3		介護 4		介護 5	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
認定者数	B3-a	12,113	100.0	2,298	19.0	1,470	12.1	2,673	22.1	1,763	14.6	1,481	12.2	1,467	12.1	961	7.9
65 歳～74 歳	—	738	6.1	158	6.9	126	8.6	138	5.2	102	5.8	82	5.5	64	4.4	68	7.1
75 歳～84 歳	B3-d	3,911	32.3	946	41.2	560	38.1	923	34.5	497	28.2	394	26.6	346	23.6	245	25.5
85 歳～	B3-e	7,464	61.6	1,194	51.9	784	53.3	1,612	60.3	1,164	66.0	1,005	67.9	1,057	72.0	648	67.4
2号含む	B3-b	12,314		2,310		1,499		2,711		1,810		1,510		1,493		981	

※ 合計人数における割合は認定者数の合計人数に対する各年齢帯の合計人数の割合

※ 各区分における割合は各年齢帯の合計人数に対する各区分の人数の割合

※ 指標 ID の「—」や割合は表内の数値を元に算出したもの

2 要支援・要介護認定率等について

本市、神奈川県平均及び全国平均における認定率等は、表3のとおりです。

表3 地域包括ケア「見える化」システムによる認定率等

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	備考	鎌倉市			神奈川県平均			全国平均		
				R04	R05	R06	R04	R05	R06	R04	R05	R06
認定率	B4-a	%	各年度3月時点	21.1	21.9	22.7	18.7	19.3	19.8	19.0	19.4	19.7
前期高齢者割合	B2-a	%	各年度3月時点	38.8	37.2	36.1	44.6	42.7	41.0	45.6	43.8	42.1
後期高齢者割合				61.2	62.8	63.9	55.4	57.3	59.0	54.4	56.2	57.9
調整済み認定率	B5-a	%	各年度3月時点	18.6	19.2	19.9	19.2	19.6	20.1	19.0	19.4	19.7
調整済み重度認定率 (要介護3~5)	B6-a	%	各年度3月時点	6.0	6.3	6.4	6.7	6.7	6.7	6.5	6.6	6.6
調整済み軽度認定率 (要支援1~要介護2)	B6-b	%	各年度3月時点	12.6	12.9	13.5	12.5	12.9	13.4	12.5	12.8	13.2

本市の「認定率」(指標 ID : B4-a)を見ると前年度までの上昇傾向が続き、神奈川県平均や全国平均(以下、「神奈川県平均等」という。)と比較してもその差は開き、益々高い数値となっています。一方で、同システムで算出されている「調整済み認定率*」(指標 ID : B5-a)を見ると、数値自体は認定率から大きく下がるものの、令和6年度には全国平均を上回る状況となりました。

「後期高齢者割合」(指標 ID : B2-a)のとおり、本市では神奈川県平均等と比べて以前から後期高齢者割合が非常に高い状況にあるため、調整済認定率が認定率から大きく減少すると考えていますが、調整済認定率においても全国平均を上回ったことは、令和6年度における大きな特徴の一つと言えます。

* 介護保険事業(支援)計画策定のための地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析の手引き(平成29年6月30日 厚生労働省老健局介護保険計画課)より抜粋

調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味します。

一般的に、後期高齢者人口の認定率は前期高齢者よりも高くなることがわかっています。第1号被保険者の性・年齢別人口構成が、どの地域も、ある地域または全国平均の1時点と同じになるよう調整することで、それ以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくなります。

後期高齢者の割合が高い地域の認定率は、調整することで下がります。

前述のとおり、本市は後期高齢者割合が高いことから神奈川県平均等と比べて認定率が高い状況となっていますが、令和6年度においては調整済認定率においても全国平均を上回る状況となりました。本市では後期高齢者割合が益々増加しているにも関わらずこのような状況になったのは、「認定率」(指標 ID : B4-a)や「調整済み認定率」(指標 ID : B5-a)が示すとおり本市における伸びが神奈川県平均等と比べても大きく、単純に認定者数の増加が著しいためと考えられます。これは、表2が示すとおり本市の認定者数のボリュームゾーンが75歳以上であり、表1が示すとおり75歳以上の人口が増加し続けていることから推察されます。また、全国平均や神奈川県平均における高齢者割合の伸びを見てみると本市よりも著しく、人口分布の状況が似通ってきたことも、本市の調整済認定率が全国平均の割合を上回った要因の一つかもしれません。

第9期鎌倉市高齢者保健福祉計画によれば、令和7年度以降は75歳以上84歳未満の人口は減少傾向に転じるものの85歳以上の人口は益々増加することが見込まれます。そのため、今後も認定者数及び認定率は上昇していくものと見込まれますが、調整済み重度認定率(指標 ID : B6-a)を見

ると神奈川県平均等よりも低いことから、85歳以上の認定者数が多いにもかかわらず重度の介護度の方の割合が低い状況にあることが分かります。以上のことから、引き続き要支援・要介護状態になること、また、このような状態になったとしても重度化を抑制するために、引き続き介護予防・重度化防止の取組を継続していくことが重要であると考えます。

以下の図1-1及び図1-2は、「認定率」及び「調整済み認定率」について、近隣の藤沢市、横須賀市及び逗子市を追加したうえでグラフ化したものです。棒グラフが本市の認定率、折れ線グラフが藤沢市、横須賀市、逗子市、神奈川県平均及び全国平均を示しています。

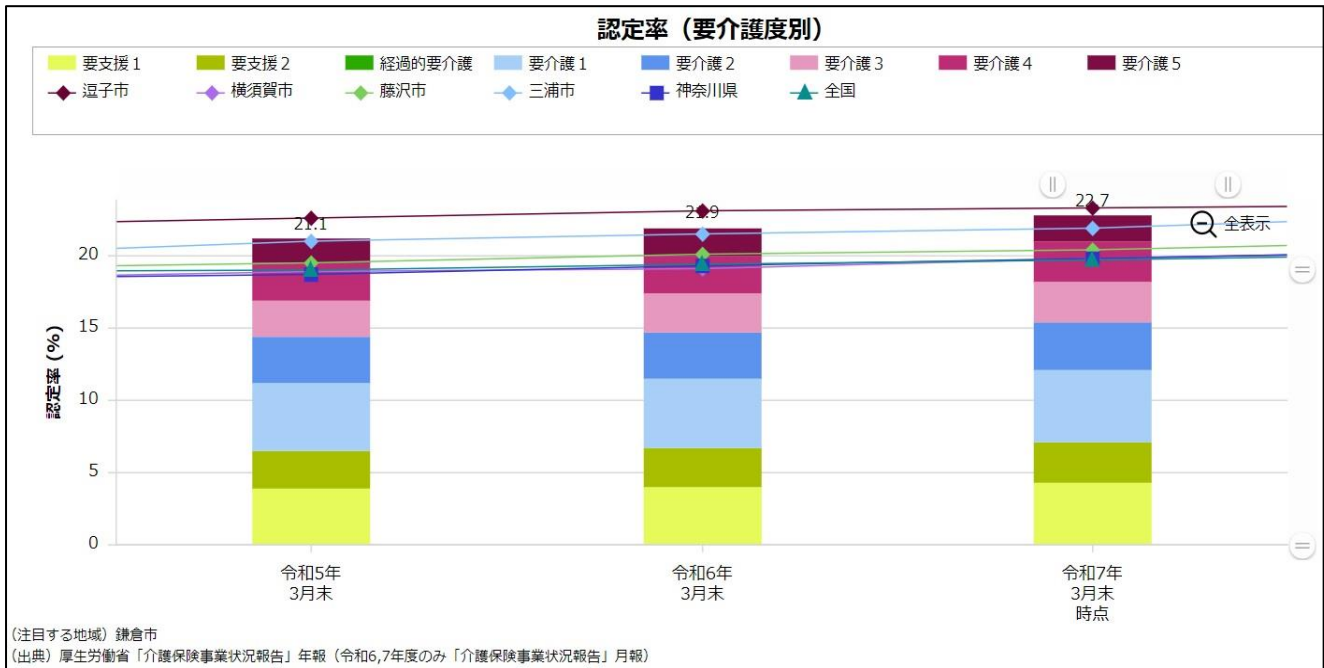


図1-1 地域包括ケア「見える化」システムによる認定率 (指標 ID : B4-a)

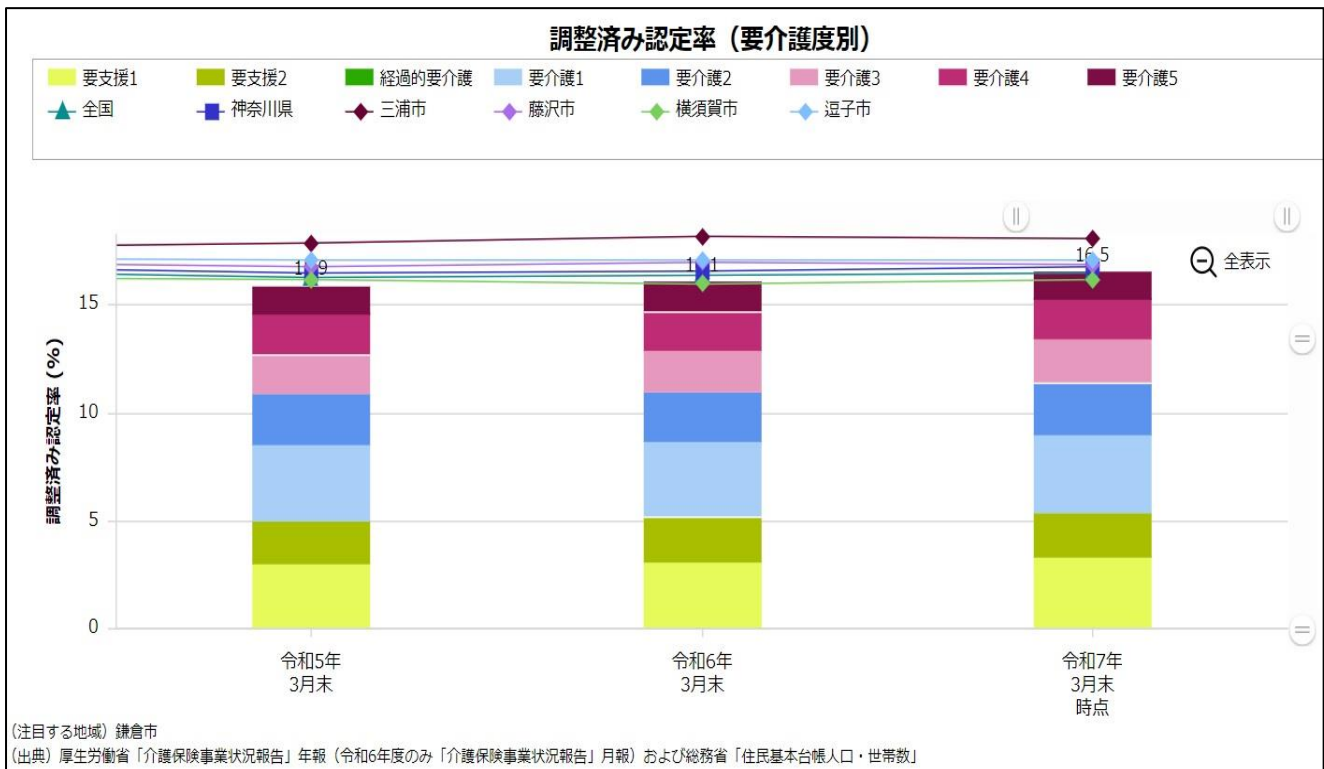


図1-2 地域包括ケア「見える化」システムによる調整済み認定率 (指標 ID : B5-a)

3 サービス種類別の受給率について

本市、神奈川県平均及び全国平均におけるサービス種類別の受給率は、表4のとおりです。

表4 地域包括ケア「見える化」システムに掲載されている受給率

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	備考	鎌倉市			神奈川県平均			全国平均		
				R04	R05	R06	R04	R05	R06	R04	R05	R06
受給率 (施設サービス)	D2	%	3月時点 (令和6年度は2 月時点)	2.3	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	2.8	2.9	2.9
受給率 (居住系サービス)	D3	%	3月時点 (令和6年度は2 月時点)	2.0	2.2	2.3	1.7	1.8	1.8	1.3	1.4	1.4
受給率 (在宅サービス)	D4	%	3月時点 (令和6年度は2 月時点)	10.8	11.2	11.3	9.8	10.1	10.4	10.4	10.5	10.8

ここでいう「受給率」とは、サービス受給者数を第1号被保険者数で除した数値です。
なお、サービスの種類は次のとおり分類しています。

指標名	含まれるサービス
施設サービス	介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院
居住系サービス	認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
在宅サービス	訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与、特定福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問看護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

本市の特徴として、施設サービスの受給率(指標ID:D2)は神奈川県平均等と比較して低い一方、在宅サービスの受給率(指標ID:D4)は神奈川県平均等と比較して高いことが挙げられます。第9期高齢者保健福祉計画期間中(令和6年~8年)は、今後見込まれる認定者数の増加を見越し、さらにサービスを充実させるため、居住系サービスについては令和6年度に認知症対応型共同生活介護(1事業所)、特定施設入居者生活介護(1施設50床)を選定しました。在宅サービスについては、看護小規模多機能事業所(1事業所)を選定しました。特定施設入居者生活介護は令和7年度、その他サービス事業所は令和8年度に開設される予定です。

また、特定施設入居者生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護、介護医療院は計画の整備目標に達していないため、令和7年度も引き続き事業所の公募を行い、各種サービスの整備に努めます。

以下の図2-1、図2-2及び図2-3は、サービス種類別の「受給率」について、近隣の藤沢市、横須賀市及び逗子市を追加したうえでグラフ化したものです。棒グラフが本市の受給率、折れ線グラフが藤沢市、横須賀市、逗子市、神奈川県平均及び全国平均を示しています。

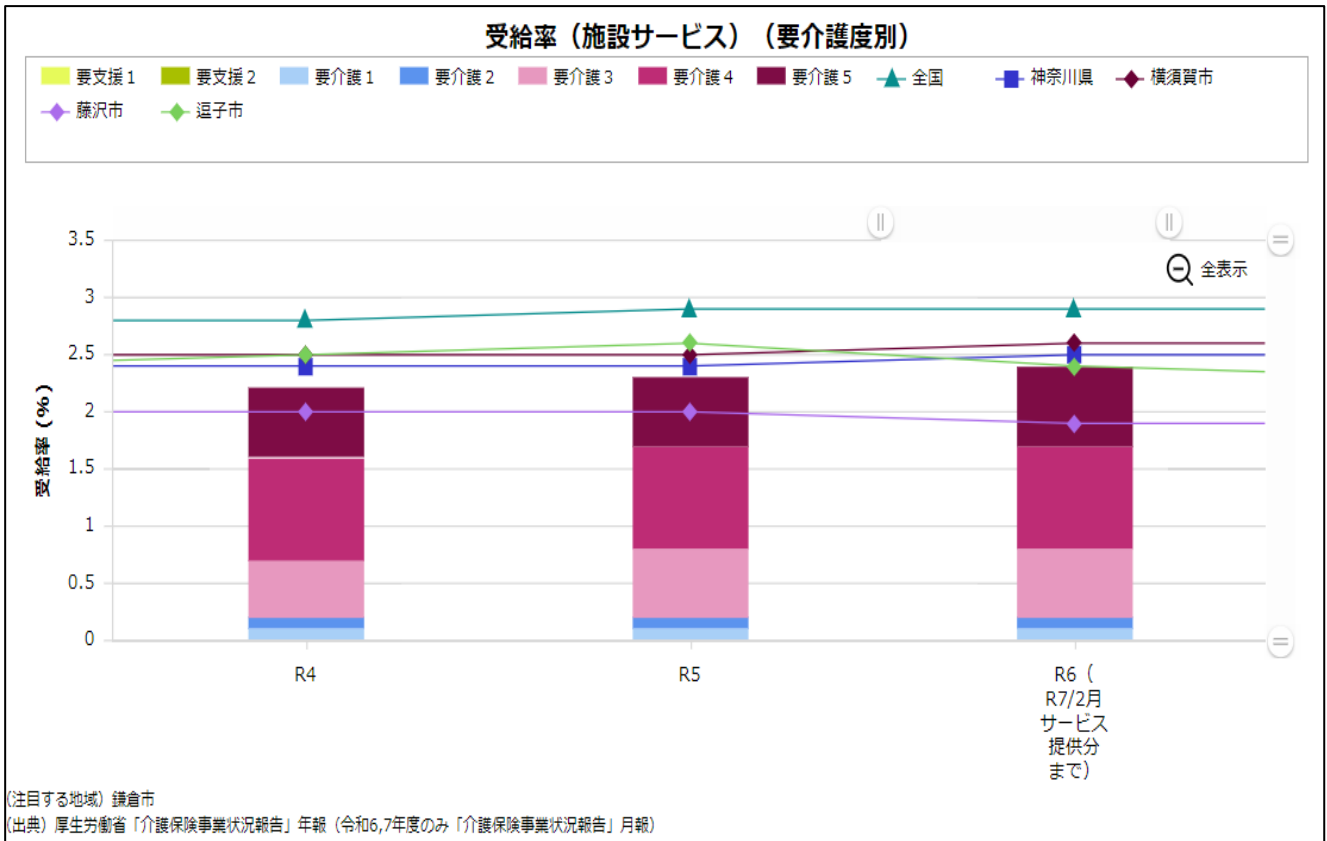


図 2-1 地域包括ケア「見える化」システムによる受給率（施設サービス）（指標 ID : D2）

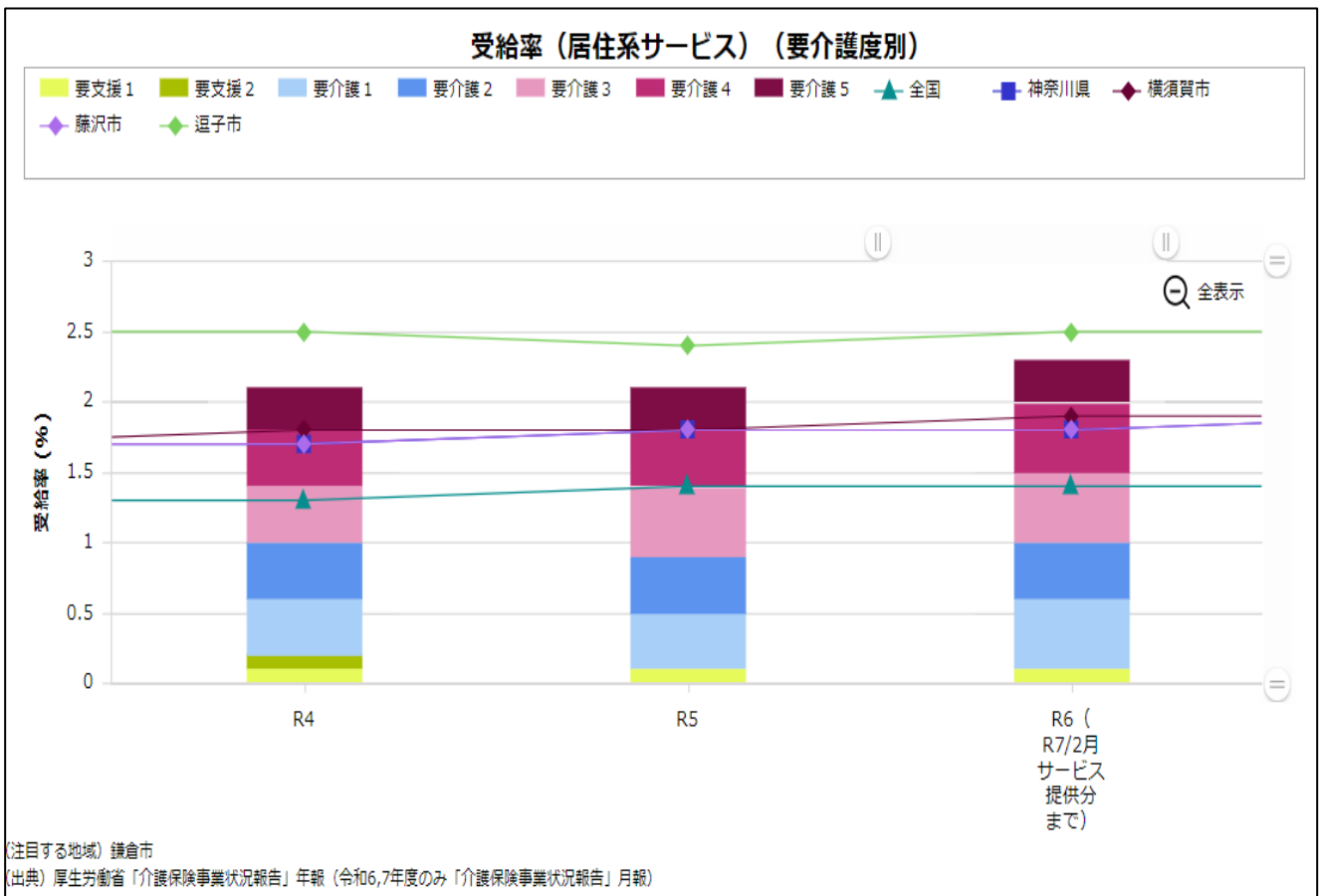


図 2-2 地域包括ケア「見える化」システムによる受給率（居住系サービス）（指標 ID : D3）

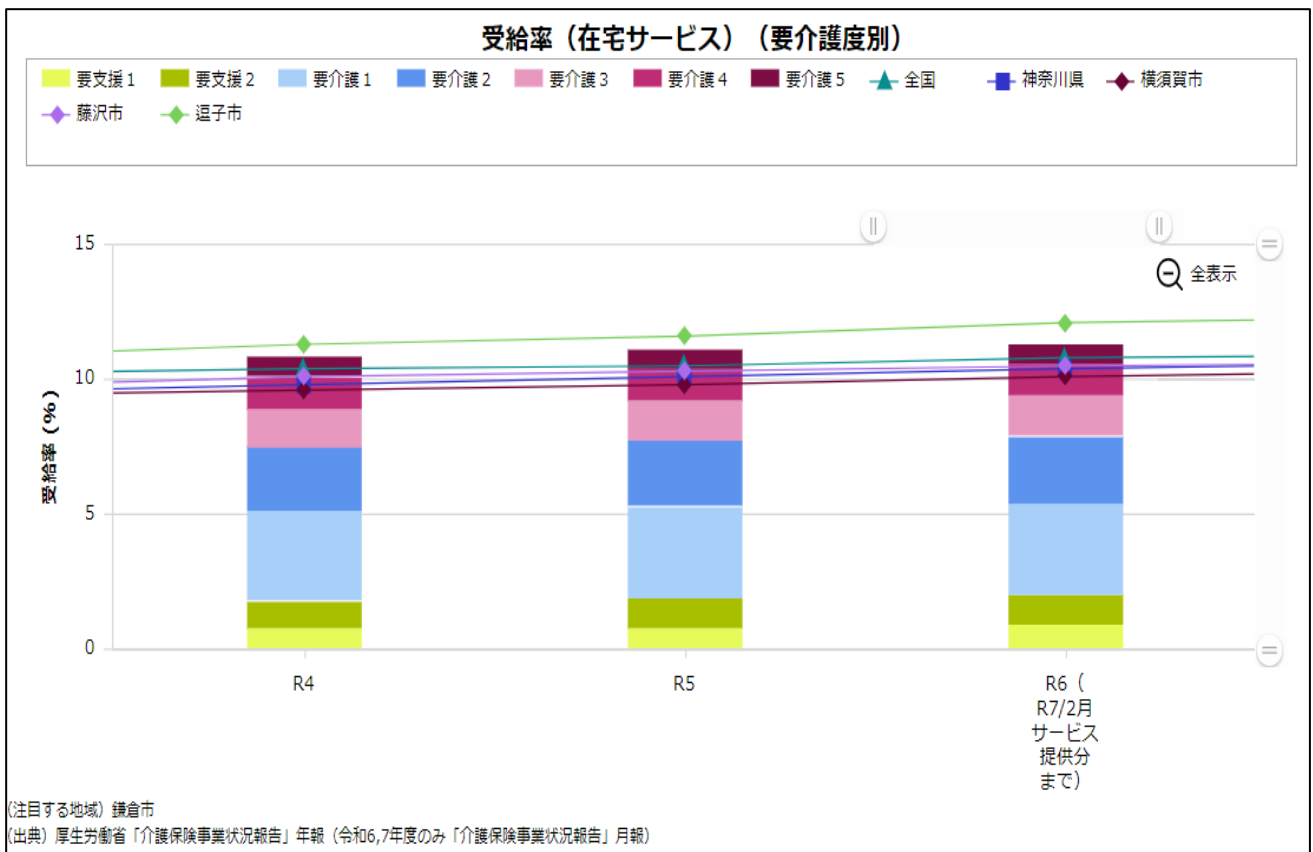


図 2-3 地域包括ケア「見える化」システムによる受給率（在宅サービス）（指標 ID : D4）